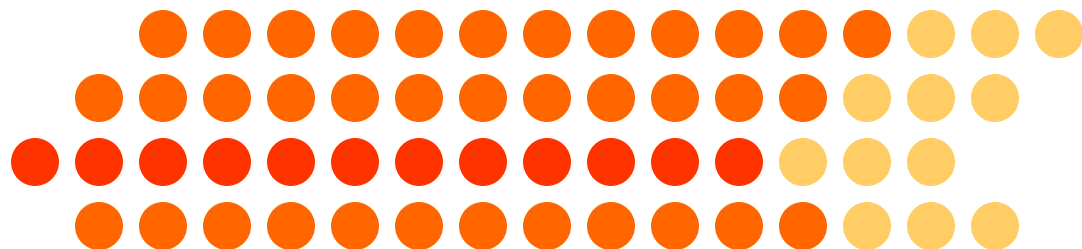


広がる保護者支援と保育

～保護者と共に、子ども理解と発達理解～





保育士の専門性を活かして、保護者が求めている子育ての問題や課題に対してどのように支援をすればよいのでしょうか？

「子どもの最善の利益」を基に保育士は子どもや保護者にかかわることが望ましいのでしょうか。具体的に保育実践を学びたいと思います。



日常的によくある場面に 合わせて考えてみましょう

1. 登園時

子どもの機嫌が悪く、親離れができない
登園時間が遅い保護者への対応



日常的によくある場面に
合わせて考えてみましょう

2. 遊びの中で

子ども同士のけんかでけがをした場合
遊びの中に入れられない子どもへの対応



日常的によくある場面に
合わせて考えてみましょう

3. 生活習慣を身に付ける

家庭との連携はどうすれば？
しつけの考え方と子どもの発達



日常的によくある場面に
合わせて考えてみましょう

4. 保育を伝える

毎日の連絡帳、何を伝える？

園だより、クラスだより 誰の為？



日常的によくある場面に
合わせて考えてみましょう

5. 相談

励ますつもりで話したことが、
傷つけることに
聞き上手になるために



日常的によくある場面に 合わせて考えてみましょう

6. お迎え

「明日も園に来たい」と思わせる保育を
子どもの気持ちを受け止め、
保護者の思いも



日常的によくある場面に 合わせて考えてみましょう

7. その他

育児不安の保護者に対する援助
子どもの発達に不安がある、
保育者の不安もある
子どもへの不適切なかわりと疑い
守秘義務って？

